

神鍋大根

日高地域の『西気明日のいしずえ会』は「人と自然と。未来へつなげる故郷づくり」を目的とした組織です。

地区の活性化を目指し、大根を栽培して販売する「神鍋大根プロジェクト」を、地域の皆さんや「さとまちガイドラボのボランティア」の皆さんと、11年前から実施されています。



大根プロジェクト担当のむらづくり部・田中秀長部長は「種まき経験を通じて、食に携わる人たちへの理解と未来の後継者にも繋がってほしいと思います。11年前の子供達は大学生か社会人になって活躍していることでしょう。幼い

時に体験した種まきのことや収穫のこと、更には食べたことを思い出す時があると思います。その思いが出が食農教育に繋がっていくと思います。また、収穫した野菜は給食に使用してもらい『地産地消』として新たな広がりが始まっています」と熱く語っておられました。

栗栖野の大根農園で、地域の小学生や園児を交えて種まきを行った「総太り」と「冬どり丸」は、神鍋特有の寒暖差と神鍋火山の黒ぼくの土で育ち、特産品の「神鍋大根」として、毎年、道の駅「神鍋高原」で開催されるマロニエまつりで販売されています。

(農業委員 鳥尾 勝)



但馬牛

昭和40年以前、農家では農耕用牛として1家に1頭くらい、家族同様に牛が飼育されていました。

しかし現在、農業の機械化が進み、牛農家の経営形態も、農耕用牛から、肉用牛として飼育されている繁殖経営へと変わっていきました。

昭和47年には県内13の改良組合



が設立され、認定基準が定められました。

現在は8組合、兵庫県として他県からの血を入れない閉鎖育種を行い、但馬牛としての血統の純粋性を維持しています。これが他県

産ブランドとの差別化につながり、令和5年、但馬牛は飼育管理システムと共に世界農業遺産に認定されました。

先人の努力の結晶が、現在の『但馬牛ブランド』となっています。

引き続き年一産に努め、ブランド力と品質の向上を図ります。

地場産業安定のため、新規就農者、および、後継者を求めます。

食の一步を！
農業に光を！

(推進委員 北村 幸弘)



農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

国民年金 + 農業者年金

◎こんな方が**加入**できます。

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③20歳以上65歳未満の方※

※60歳以上65歳未満の方は国民年金任意加入被保険者に限ります。



◎**積立方式**だから自分がかけた金額は年金として**生涯もらえます**。(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎保険料は **いつでも変更** できます。

月々2万円※から6万7千円まで
※政策支援（以下参照）の対象とならない方は1万円

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の **節税** になります。

◎**政策支援**（保険料の国庫補助）が受けられます。

例：認定農業者等で青色申告者で35歳未満の人は10,000円（5割）補助

問い合わせ先 豊岡市農業委員会 TEL.0796-21-9021
最寄りのJAの農業者年金担当

独立行政法人農業者年金基金
専門相談員 TEL.03-5919-0371
企画調整室 TEL.03-5919-0332